

[成果情報名]モモ「夢みずき」の施設栽培における生産安定対策

[要約]施設栽培において「夢みずき」は生理落果の発生が見られるが、摘果程度の調節や袋かけ時期を遅らせる対策の実施により、収量を確保しつつ、大玉で着色や食味の優れる果実が収穫できる。

[担当]山梨県果樹試験場・栽培部・落葉果樹栽培科・芦澤勇太

[分類]技術・普及

[背景・ねらい]

施設栽培における「夢みずき」は生理落果の発生が見られ、収穫量を十分に確保できない場面が想定される。そこで、本研究では、生理落果の発生程度を明らかにするとともに、対策による果実品質等への影響を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 生理落果は、満開後50日から65日頃まで発生する（データ省略）。発生程度は年次により変動するが、落果率は10～25%程度である（図1）。収量確保のため、仕上げ摘果は最終着果量に対し2割程度多めに果実を残す。生理落果する果実を判別できる満開後65日に最終着果量に見直し摘果し、袋かけをする。
2. 生理落果対策を実施した「夢みずき」は、慣行管理の「日川白鳳」「白鳳」に比べ果実重は大きく、糖度も高く、収量も確保できる（表1）。
3. 「夢みずき」の果実重は、樹齢を経ると対照品種よりも大きくなる傾向があり、着色は年次によらず安定して良好である（図2、図3）。また、「夢みずき」果実の階級構成比率は、1kg箱換算で3～4玉が72%と、「日川白鳳」に比べ大玉比率が高く、「白鳳」と同程度である（図4）。
4. 慣行加温体系における5年生～10年生の「夢みずき」の収穫始めは、対照の「日川白鳳」に比べ10日程度遅く、「白鳳」より7日程度早い。満開から収穫始めまでの日数は88日である（表2）。

[成果の活用上の留意点]

1. 本成果は、果樹試験場（標高440m）の硬質ビニールハウスにおいて、7.2℃以下の低温遭遇時間が1,000時間を経過してから加温した、斜立主幹形整枝の樹を用いた結果である。

[期待される効果]

1. 大玉で着色や食味が優れる早生品種として県内の施設栽培への普及が期待できる。

[具体的データ]

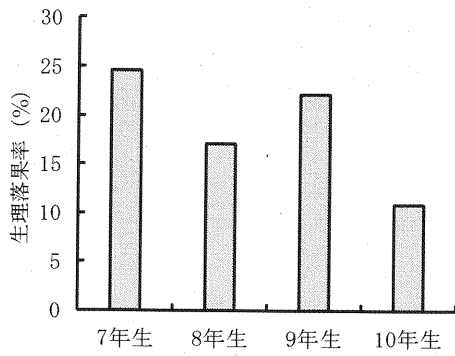


図1 施設栽培「夢みずき」の樹齢別の生理落果率

※仕上げ摘果後～袋かけ・除袋時の落果数と生育不良果の摘果数から算出

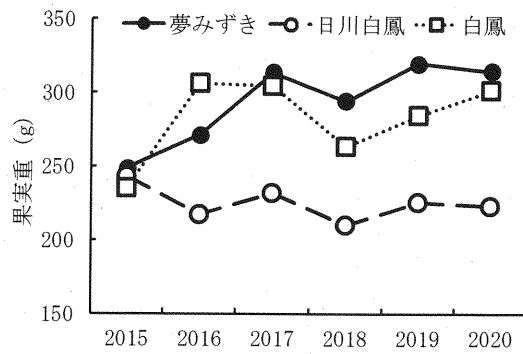


図2 施設栽培「夢みずき」の果実重の推移 (2015～2020)

※夢みずき 5～10年生、日川白鳳・白鳳 6～11年生

表1 生理落果対策を実施した施設栽培「夢みずき」の果実品質 (2018～2020)

| 品種名 | 樹齢 | 果実重 (g) | 硬度 (kg) | 糖度 (Brix) | 酸度 (pH) | 着色 ^z (指数) | 食味 ^y (指数) | 突出 ^x (指数) | 収量 (kg/10a) |
|------|------|---------|---------|-----------|---------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------|
| 夢みずき | 8～10 | 310 | 2.2 | 13.8 | 5.0 | 4.2 | 4.1 | 1.2 | 1334 |
| 日川白鳳 | 9～11 | 220 | 2.1 | 12.2 | 4.7 | 4.2 | 3.6 | 1.3 | 1019 |
| 白鳳 | 9～11 | 283 | 2.2 | 12.5 | 4.8 | 3.5 | 3.7 | 0.6 | 1632 |

z) 1(微)～5(多)、y) 1(不良)～5(良)、x) 0(正常)～4(突出)

※日川白鳳、白鳳は慣行管理(仕上げ摘果で最終着果量に調節し、満開後50日以降に袋かけを実施)

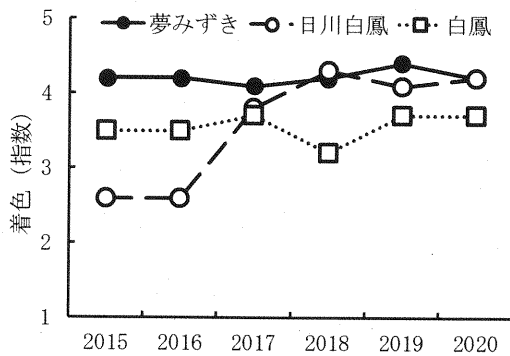


図3 施設栽培「夢みずき」の年次別着色程度 (2015～2020)

z) 1(微)～5(多)

※夢みずき 5～10年生、日川白鳳・白鳳 6～11年生

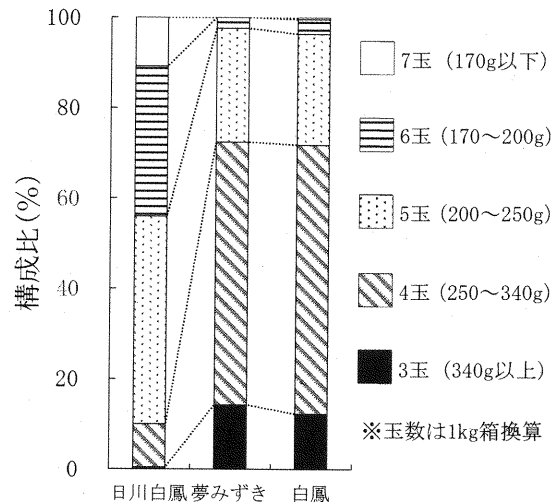


図4 施設栽培「夢みずき」果実の階級構成比率 (2020)

表2 慣行加温体系における「夢みずき」の生育特性 (2015～2020)

| 品種 | 樹齢 | 開花期 | | 収穫期 | | 加温開始からの日数 | | 満開～収穫始めの日数 |
|------|------|------|------|------|------|-----------|------|------------|
| | | 始め | 満開 | 始め | 終り | 開花始め | 収穫始め | |
| 夢みずき | 5～10 | 2/17 | 2/26 | 5/24 | 6/1 | 33 | 129 | 88 |
| 日川白鳳 | 6～11 | 2/20 | 2/28 | 5/14 | 5/21 | 36 | 119 | 76 |
| 白鳳 | 6～11 | 2/19 | 3/1 | 5/31 | 6/9 | 35 | 137 | 93 |

加温開始 平均 1/16

[その他]

研究課題名：モモ優良品種の特性調査と栽培技術の確立 (第5次)

予算区分：県単

研究期間：2016年度～2019年度

研究担当者：芦澤勇太、池田博彦、富田 晃、萩原栄揮